

# 輝け若人

就職先に土木技術職を選ぶまでに、私の心を何よりも大きく動かしたのは現場を訪れて感じた衝撃でした。

シールドマシンを用いた導水トンネル工事では、内部に入ると外とは全く別の世界が広がります。重機から鳴り響く重低音や暗い空間を照らす照明、赤く光る回転灯、大小さま

ざまなパイプ…まるで巨大な地下要塞を探索しているような気分になり、胸の高鳴りを抑

な存在感に気押され、ダムの上立った私はその景色に高所の恐怖も吹き飛びました。

艦に乗っているかのような感覚になり、仕事で毎日この場所に来る職員の方がうらやまし

## 壮観、土木の世界



第一工科大学 4年  
環境エネルギー工学科

二宮 壮一郎 さん

えられませんでした。高さ100mを超える重力式コンクリートダムを訪れた際は、遠くからでもその圧倒的

下流側を見渡せば自然と一体化した巨大な古城の上に立っているような、上流側を向けば大海原に浮かぶ巨大戦

くなりました。このような大規模な工事では安全・衛生面に不安もありましたが、現場視察では作業服や

ヘルメット、安全帯などを着用しました。また、どの企業も危険に対する注意など安全説明をしっかりとしてくださり、安心して見学できました。説明会では、勤務中の健康維持や事故防止を目的としたラジオ体操や休憩・休暇の十分な確保なども伝えられ、当初あった職場環境への不安は魅力へと変わっていききました。

これらの印象はまだ土木の世界を外から見て感じたものですが、職に就いてから気付く魅力も多はずだと思えます。どのような世界なのか今からとても楽しみです。